一…價鐵五吊四百文至五吊
…共上車三十餘輛
邊車共來七十餘輛
元…六吊九百至六吊八百

一連…　一連
一フールスカツプ　全　四圓
一中判洋紙　全　二圓
一半紙罫紙　百枚　二十錢
一卷紙　四十枚綴　十四錢

一…
一簞笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一厨房用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料金前納　一長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社　（電話二十九番）

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本店　横濱
支店出張所　神戸　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港　上海　天津　北京　大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

横濱正金銀行牛荘支店
電話　十番　支配人室　百八番　事務室

日本郵船株式會社　瀛船出帆廣告

山東丸　四月四日未明　大沽、芝罘、門司、神戸行
相模丸　四月十日發　大沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行
横濱丸　四月五日發　大沽、芝罘、門司、神戸行

乗船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店　旗昌洋行（電話廿六番）

大阪商船株式會社　營口瀛船出帆廣告

潮州丸　門司　神戸行　四月四日着　仝七日出帆

代理店　東營口公園地横　ブツシユ兄弟商會　遠來洋行（電話二十三）

瀛船出帆廣告

日之出丸　三月卅一日入港　四月三日　門司、長崎行
摩耶山丸　四月二日入港　四月五日　門司、神戸行
日海丸　四月二日入港
日勝丸　四月四日入港
錦龍丸　四月五日芝罘行
萬成源丸　四月五日　竜口、登州府

營口代理店　松茂洋行船舶部
元神廟街三〇六號（電話五二）

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞此本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需　國本主人啓

宅合名會社分荘

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印丼一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋陳鐘表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部
還般特得官准開設火車轉運行於東西兩店丼牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白　電話　東店五五　西店一〇三

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寛大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客荘運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週運知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分荘

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分荘謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話架設中）

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撻釈）百合花牌（利利）均已馳名内外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沾來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉　諸君欲講可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船　摩耶山丸　頼朝丸　專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客税已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

三井　電話　第六十六號　第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近恕蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行　電話　第六十六號　第九十一號

生徒募集

營口瀛華實學院招入學生

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し義に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし　營口　瀛華實學院

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寛宏學生宿舎各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

東清鐵道裕和盛運輸局　（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎
謹啓

營口商業學校招入學生

本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成效茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生
宗旨　造成辨公實業家
學科　修身、漢文、詞章、習字、算術、圖畫、地理、歴史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、体操
學額　五十名
資格　十五歳以上文理明通者
學費　特免惟寄宿者生自備饌實餘皆本校塾辦
入學　陰暦三月初一日
夜班　專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晩兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限
○欲覽各樣詳細章程可到本校索閲

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ

右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許　丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構内（電話四六番）

材木販賣　荒物
秋田洋行
本店　下關　秋田寅之輔商店
營口永世街第一八四號平野町

税關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣

弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市内貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口英國領事館東首　綏定門街第五〇
三仁公司（電話一五〇號）　小島榮藏

上海　中井洋行　專運日本各式紙料
營口青堆子

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書糯各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

自造煉瓦●瓦並に各種石材販賣
加州組（電話八十六番）

東洋號運貨局

本局新設新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實爲旨懇切受托童叟不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨種多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可飭人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知
新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

太古輪船公司

啓者本公司自派温州牛荘兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歴經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口　太古輪船公司

東京電報

●伊太利皇族御入京　一日伊國皇族殿下御入京伏見宮殿下佐久間大將坂谷藏相等出迎へ霞ヶ關離宮に入せらる二日正午御參內陛下に御對顔午後退出三日陛下より殿下を御訪問の筈

●鐵道問題と買收鐵道　鐵道國有法案京釜鐵道買收法一日公布せらる買收すべきは北海道炭礦、北海道、日本、岩越、陸越、甲武、總武、房總、七尾、關西、參宮、京都、西成、坂鶴、山陽、德島、九州の諸鐵道なり

●關稅改正法公布　關稅定率法一日公布十月一日より施行の筈

●捕獲船拂下　海軍省は捕獲船十一隻を入札拂とすと

●極東太守復活說　露國にては極東太守復活說有力なり

●東清鐵道の借欵說　露國東清鐵道會社は戰後經營費として本年中に千二百萬ルーブルを露國政府より借入れの承諾を經たりとの說盛なり

●樺太漁業問題　樺太漁業問題に關し當局者は漁業は土地に附屬し財產權と同一視すへからずとの解釋を執ると云ふ

●參事官の交際費　大使館參事官は年額一萬二千圓以內の交際費を支給せらると云ふ

●領事館增設　カルカッタ奉天廣東安東縣に領事館新設の爲め其給額を新定せらる

●日韓博覽會開會　日韓博覽會は四月十五日開會に決す

●日本醫師の招聘　政務顧問部は日本醫師二十八名を聘雇す

（以上四月二日發電）

北京電報

●秦皇島租借　秦皇島の各國兵撤退後日本は開平鑛務局に向ひ租借をなすに決せり

●膠州灣問題　膠州灣稅關收入は獨逸銀行と支那銀行とに割當て取扱はしめん計畫に對しムンム公使は不服を唱へ米國クーロンの例を舉け獨逸銀行一手にせんと照會せり

●肅親王の出發　肅親王は三日蒙古に向ふ筈

（以上四月二日發電）

倫敦電報

●ナタル事件と殖民卿の答辯　殖民卿エルジン伯及び次官チョーチル氏は議會に於て質問に答へて曰くナタル殖民地內閣の辭職に就ては新聞通信社の電報の外未だ何等の公報に接せず同殖民地は土人の反亂鎮定の爲めに本國軍隊の助力を要する場合もあるべきを以て本國政府が此度巡查を殺害せる土人の處刑を中止せるは決して不當の處置に在らずと

●獨國首相の地位　獨國首相ビューロー公の位置危しとの風說は伯林に於て半官的に否認されたり

●米國の同盟罷業　米國ビテミノス及びアンスロシット兩炭坑の坑夫四十萬人は四月二日を以て同時に同盟罷業を爲すべきことに決定せり

（以上三月三十日發電）

●ナタル知事の通報　殖民卿エルジン伯は議會に於てナタル殖民地知事の通報を朗讀せり同知事は其通報に於て軍法會議の經過及びスミス內閣辭職の顚末を述べナタルの民心を激昂せしめたる死刑執行中止の命令を撤回されむことを請求せり殖民卿は之れに對して事情の通報を得るに及むで死刑執行の問題はナタル政府の決定に一任すべきことを承諾せる旨回答せり

●殖民卿と英國議會　殖民卿は議會に於て答辯して曰く本職は責任內閣制度を有する殖民地政府の行動に干涉するの意思なかりき然れども目下ナタルには本國軍隊の派遣あるを以て斯る問題に關しては詳細なる通報を得ざるべからず本職は同殖民知事が前以て詳報せざりしことを遺憾とすと

●新聞紙の英內閣評　英國の諸新聞紙は現內閣を評して一度勞働党に降伏し二度ナタル殖民地に降伏せるものとなせり

●ナタルの憤慨決議　ナタルに於ては本國政府の處置に憤慨して大集會を催ふし殖民地の內治に關しては決して本國政府の干涉を容さずと決議せり

（以上三月三十一日發）

●モロッコ會議の進行　アルジェシラスに於けるモロッコ會議は總ての問題に就て議的協商の運びに至れり

●ナタル內閣の辭職書撤回　ナタル內閣は本國政府の保證と知事の懇請とに依り辭職書を撤回し死刑の執行を延期せり

●ナタルの巧なる勝利　デーリー、ニュース新聞はナタル殖民地が巧みに勝利を制したることを承認せり

（以上四月一日發電）

雜報

●大連通信（廿八日發）

▲今回の戰役、閣下以上にして負傷或は病氣にて後送されたる者多し、而して松永第三師團長は前後二度大連病院に入院、且つ病院船にて後送（一回は其實凱旋）さるゝ事となりたり、即ち前に後送されたるは三軍の參謀長時代にして昨三月二十八日に上船せる也、尙其他病院船に上りたる閣下等を數えんか今橋、岡崎、中村、內藤、小泉、等の各少將、土屋中將等に御座候

▲山本大將は滿洲號にて昨旅順拔錨、一行中にありし加藤次官は一行に別れて鐵路大連に來り昨日出帆の海軍御用船芝罘丸にて佐世保に向れ申候

▲的野半助氏等の出願に係り今回許可を得たる海軍埋立工事は其埋築坪數九万坪其費用五十五万圓の豫算なりとの事に御座候、勿論資本主を之より需めさるへからす東京側にあり平浩先生等之れに奔走いたし居るとの風說有之候

▲臺灣覆審法院長として一時雷名を轟したる高野孟矩氏當地に法律事務所の標札を揭け出したるを第一とし今又山下とか言ふ人之に倣えり、小林一生氏も早晚看板を上くる由に候、言論の自由を得る（ヨシ一部分丈けにもせよ）勿論結構、左りながら理窟屋漸く殖えて（臺灣の灣辯の如き）喠々と埒もなく喧爭するに到つては餘り感心せさる次第に御座候

▲春とは申せ薄ら眠ツたき滿洲の日永の徒然、讀むと讀さるは讀者の御勝手、大連其大連の連の字に由緣の連枝鑑小生聞カヂリ居る丈け乃ち其一二を申上へし、石塚民政長官は會津藩であつてそして其令夫人は故山川浩に血緣の人、乃ち大山大將令夫人捨松子とは從姉妹同士とか聞及び候、浦警務部長は知る人ぞ知る、戀婿戀女房角田眞平氏の令孃榮子の君之れ浦令夫人に御座候、當地郵船會社の川村君、川村大將の嫡男にして從五位殿に御座候、又同店に同樣勤務いたし居らるゝ西鄕小次郞君、京都市長西鄕菊次郞氏、とは異母弟であつて少佐の西鄕虎太郞氏の實弟、即ち大西鄕隆盛先生の血統に御座候、

▲當地にある古手代議士其お名を披露に及び可申候、兎に角三度迄濟出したる野間五造君、扨其次に大阪府の出水彌太郞君、福岡縣の的野半介君、高野孟矩君、筆の先でセメテ準代議士位の尊號を奉りたいと思ふのが大井憲太郞君以上は昔日今大連の居住民に御座候

●營口道臺の新任　中國鐵路總辦梁夢亭氏は今回昇進して營口道臺に任命せられたり聞くか如くんは氏は米國某大學の出身にして歐米の事情に精通せるのみならず非凡の手腕を有し兼て英語を談ずるに甚巧妙にして清國に於ては稀に見る所の利腕家なりと云ふ尙ほ氏は當分の間は錦州に駐在するならんと

●營口療病院の近情　療病院主任古川三等軍醫より鈴木一等軍醫に報告したる去る三月十五日より同月末迄の情況を見るに去る十五日迄の舊患者は總体にて九十二名なりしが其以後の患者七十八名あり今は實に百七十人の患者を施療しつゝありと而して其病名を聞くに多くは身体の不潔より生ずる外被病にして之れに次ぐは營養器病より發する急性腸胃加答兒なりと近來解氷と同時に無頓着なる淸人等は飮料水に用ゐられざる不潔の池水或は河水等を飮用し爲めに種々の病を引起すもの續々ありと云ふ其他に至つては眼病呼吸器病なるも尠少なりと云ふ

●婦人會の慰問費と決算　豫記の如く再昨日領事館に於て同委員部が過般アッセンブリホールにて開催せし慈善賣店並に同演藝會に對する精算報告を爲し尙昨年來或委員部の事業として大石橋通過凱旋軍人の慰問を爲しつゝありし經過並に決算報告を爲せり而して之れが諸報告に據れば慈善賣店等より收入せし銀は五千四百三圓□五錢にして賣品仕入金其他諸雜費等總支出高三千三百三十一圓四十九錢差引利益殘銀は二千七十一圓七十六錢なりと更に卅八年十一月十七日より本年三月十二日（大輸送完結の日）に至る旋凱軍人慰問に對する決算に據れば收入の部にては前記慈善賣店等より生したる差引殘銀二千七十一圓七十六錢と在留有志者の寄附銀四千八百二十一圓十錢と外に大石橋當委員部出張不用品賣拂代金五十圓と相併せ□銀六千十百四十二圓八十六錢にして慰問贈品の卷煙草菓子燐寸其他備員給料並に雜費を併せて總支出額六千二百八十二圓五錢差引銀六百六十圓八十一錢の餘銀を見たり右殘銀は當委員部の決定により愛國婦人會本部の手を經て東北飢饉地に於ける軍人遺族の扶助並に廢兵救護費の方へ寄附する事に決せり因みに昨年十一月十七日より本年三月十二日に至る間に於て凱旋軍人に給與せし菓子一万六千五百三十八斤にして卷煙草は一百二十一万五千九百四本にして燐寸は五万六千九百五十九箱（小箱）にして之れか贈與を受けたる凱旋軍人數は實に三十二万四千七百九十人なりと云ふ

●豆及び豆糟の近況　現在の在荷は總体にて十三四萬石にして其相場は白豆一石七兩六夊五分靑豆一石七兩三夊五分位なりと云ふ尙ほ昨今は內地より入荷は少しも之れなしとなり豆糟は過日の紙上にも一寸記載せし通り油房に於て先賣を以て既に賣盡し居れば昨今賣物は皆無の姿なり其相場は十枚十二圓五十錢位なりと云ふ

●『り號』貯蓄債券の賣出　牛莊正金銀行支店に於ては來る五日より三十日迄更に勸業銀行の依賴に依り『り號』貯蓄債券（一枚金五圓）を賣出す由買取り希望の者は速に申込むに非らされば前回同樣賣出枚數少數なれば其希望を全ふする能はさるへしと云ふ

●黑澤副稅務司の榮譽　副稅務司黑澤禮吉氏は今般參謀本部の取次に依り明治三十七年役戰捷紀念として久邇宮殿下より御定紋付茶碗大の銀杯一個を拜領せる由誠に榮譽と謂ふへし

●營口病院の近情　三月末の健康診斷日に於て身体檢査の結果廿二人入院患者を發生し之れに從來收容せられたる者を合すれば五十二人の多人數にて病名は相變らず男子の淋質より生ずる子宮頸管加答兒の患者多く眞正の梅毒は至つて少なく二三の患者あるも總じて內地より輸入したる者にて當地にて發生せし者は甚稀なりと云ふ

●森病院主の歸院と擴張　當地森病院主森矯氏は久しく歸朝中の所一昨日歸院翌二日より直に診察に從事し居れる由なるが今回氏の歸院と共に大に院務を擴張する計畫にて新に醫員として岡山病院に就職せる醫學得業士長船郁太郞氏を招聘し已に數日前を以て來任し又齒科醫一名及ひ看護婦數名も近日中に來院する由なれは同病院も日を逐ひ整頓を見るに至るへしとなり因に森氏不在中院務を代理せる鈴木醫長兩三日中出發一時歸朝の途に就くへしといふ

●橫濱丸の入港　郵船會社瀛船橫濱丸は一昨日午後十一時入港せり船客は一等田村彰一、二等鈴木ツネ、安本龜松飯塚サク三等四十三人にして積載貨物は雜貨二百六十三個酒六樽紙類二個等なりと因に同船は日本瀛船中稀に見る美麗なる客船にして一等客室四十五人二等室二十人（凡て寢臺附）三等二百人を收容せらるゝと云ふ

●日の出丸入港　松茂洋行取扱船日の出丸は昨日午前入港せり其搭載貨物は石炭木材浪板等三百噸なりと乘客一等三井支店社員箕輪竹三郞以下五十四人なりと云ふ

●二本町衛生組合總會　二本町衛生組合に於ては明四日午後二時より祇園閣に於て役員改選幷に收支決算報告及び夏季に向ふ衛生上の注意に就て其筋より係官出張し一場の訓示ある由

投書かご

▲一昨日始めて內地式の葬式があつた回坊も式に連つた一人であると市場の北原氏の愛孃が當年七才の最惜し盛り蕾の儘で散つたのである父母の哀情はどんなであろ！此荒漠たる原野花も若草もなき野邊に烟と昇りたりしは導師は禪宗の古川師脇には寺本恒川の兩布敎師盛んなる前驅後衛の提燈旗旒行列嚴かに本願寺出張所の式場で鄭重な讀經と正式な告別が行はれて物珍らしげに雲集せる兩國人衆の間を過ぎて景文門外の火葬場に赴いた回坊は驚いた五千の人口を有する營口の遺骸を扱ふ設備の不充分なのには別に式場もなく棚もなく机もなく椅子もなき荒野の吹き放しの中憶ひ出すのは西洋人が居留地經營の第一着には墓地を撰定し事實永久の志望即ち其處の土となりても憾みなき樣にすると是れとは大反對回坊も始めは內地の樣な款式で弔祭さるれば結構だ骨を埋むは何地でもよいと考へたが墓地に來ていやになつた他の人も皆同感だつた是れでは滿洲經營どころか滿洲寄留もいやだ新居留地が出來たら回坊の樣な感情を起させないように早く設備が願ひ（同坊）

▲竹槍席旗生の說然り大に然り余輩双手を擧けて贊同の意を表すに吝ならざるものなり寧ろ一味徒黨の連判狀に加盟するも可なり起てよ新聞催告の豫告を受けたる陣笠の輩旗鼓堂々出陣の時は迫れり蹶て營口滿街に軒を聯ぬる旗亭のチアンコイに警告せん覺醒せよ諸子一時的ぼつたくりの時代は既に之去れり今や永久的基礎確立の時代たらんとす須らく改めずんば遂に顧みる者なきに至らん否な內地より着實なる割烹店の來營を促がし益反抗せん覺醒せよ諸子一時吉原を愕然たらしめたる救世軍の變体は今營口の那邊に於てか蠢々機を睨いつゝあらん（一揆の太鼓持）

●頭陀袋　淸國留學生近時漸く墮落し來り辮髮を垂れて北里に出入する者が非常に多いので娼妓に清語を敎へてチャン公を引込む妓樓も出來たさうぢや▲東京女學生の墮落も亦酷いやうである男學生に知合がなからにや同朋間に幅が利けぬので女學生が下宿屋の四疊半で每日考へ込んで居るのは如何にして男學生に接近し得るかの方法であるさうなやそれで女學生中でも三十人の知已を男學生に得た者は一廉の勢力があるげな▲文藝協會會頭大隈重信伯德島の素人義太夫に南海の大樣といふ名を許可したさうぢや大隈さんはエライ世話の燒けるとでおぢやる▲近頃東京では廂髮の掏兒が流行るさうだが其中にもお兼お由などいふのは中々の美貌であるのでデレーリとしたる連中は必ずやられて了ふぢや▲貸本屋が東京では男女兩學生の相引を媒介する唯一の聯鎖である彼等は下宿に入込み人間の弱點から附け込んで男女學生を煽り立てる不埒な奴が居る▲加納子爵十五才前後の令孃に獨り旅をさせて其訓言に曰く若し途中間違つた事が起きたら人相のよい老人に賴むがよいとは面白いで無いか（黑坊主）

●營口奇觀　營口の三井支店といへば重盛街北側に土壁を以て取圍まれた屋根の低い陰欝な薄暗い支那風と西洋風とを折衷した奇體な家屋である其奇體な家屋の入口の戶の所に單に『三井』といふ金文字の看板が掛つて居る倉卒にそれを見ると『三井』が三弗と見えるのみならず其家の樣子が何と無く香港あたりに在る怪しの家と能く似て居るので往々飛んだ間違を仕出かさんとする者があるさうぢや殊に始めて來た外國人などは守形を見た許りでもうさう信じ切て居る者が少くないといふ話である是れも營口の奇觀の一に數ふへきものと信ずるので態々御注進を申上げた次第である（一閑人投）

乙巳九秋觀旅順口戰後之狀感吟　岩城黃雨

黃金山上慘雲橫　松樹山頭魑魅鳴
拔岭摧壕神鬼業　三軍孰不擧功名

同　耀州　秦灝年

慘霧凄雲滿目橫　宵深惟有晚潮鳴
笑他露寇眞無賴　百戰空傳敗北名

同　山陰　近藤孤山

黃金山上密雲橫　浪逐腥風萬籟鳴
追想往時誰能制　齊歌乃木將軍名

▲上行車時刻表　站名　午前　時　分　午後　時　分

▲下行車時刻表　站名　午前　時　分　午後　時　分

稅關手續

來る四月一日の日曜日より今後毎日

營口地方天氣豫報　自二日午後六時　至三日午後六時

小說
新作小說 おとし胤（二十七）　德田秋聲

健三は、餘り家が静かなのに先づ不思議の感に打れた。元來何時も静な家ではあるけれども、平常なら尚だ何處からか火光が漏れてゐるのである。然るに今宵は、一点の火光も射さぬ。人ならば息の斷れて了ツたやうなものだ况して客があるといふのに、此樣な早寢をする譯が無い。

彼は門の扉を押して見た。門は堅く閉されゐツた。潜戸を啓けて見た。潜戸にも錠が下ろされて了ツてゐる。

「何うも妙だ！」

と健三は頭を振ツた。そこで裏へ廻ツて、勝手口へ來て見た。勝手の方にも火光が射して居らぬ。たゞ眞ツ暗だ。

健三は、愈々不思議に思ツた。光が約束を違へたことから、また平常と變ツた家の樣子から、其處らを取合せて考へて見ると、何うも、何か異變があるやうに思はれてならぬ。

健三は少し狼狽えた。そして心が迷ツた。

「何うすれば可いかな？」

彼は戸を叩いて、家の樣子を探ツて見やうか、それとも默ツて此の儘歸らうか。何れとも決し兼ねたのであツた。默ツて歸るのも何やら氣懸り。されば迚謂ツて心に弱點があツて見れば、思切ツて戸を叩く氣にもなれぬ。

彼は闇の中に突ツ立ツたまゝ、少時腕を組むで考へてゐた。

全て何事に依らず、彼は何れとも決しなければ止まぬ性分である。で彼は直に決心した。彼は輕く戸を叩き始めた。

「誰だ。」

勢の無い聲ではあるけれども、正に寛齊老人の聲である。

「先生、私です、健三です。」

「健三か、何か用かの。」

健三は、ぐツと窮ツた。「光さんは？」と聞きたいけれども然うも謂はれぬ。

「別に用と謂ツてありませんが………」

と言濁らせてゐると、幸なるかな。

「まア、入るが可い。私も獨になツて淋しくてならん。」

「お獨ですツて？………　孃さんは、何うなすツたんです。」

「光か。」と謂ツて、寛齊老人はやツ、、、とさと立起ツた氣勢。「待て、待て。今開けて遣るぞ。」

光が居らぬと聞いて、健三は呆氣に取られて了ツた。呆氣に取られたといふよりは、仰天した。眞ンの一瞬間であツたけれども、健三の頭は急がしく働いた。

「光さん何處へ行ツたんだらう。夜になツて近所へ遊びに行く筈も無いし………」

彼は、豈夫に東京へ行ツたとは思はぬであツた。

忽ち、ごとりツと音がして、雨戸が、さツと啓いた。

「さ、入るが可い。何うしたのぢや、二三日來なかツたの。」

「はい、昨夜鳥渡參らうかと思ひましたが、お客樣があると聞きまして………」

「遠慮をしたのか、然うか。」

寛齊老人は、片手に豆ランプを持ツてゐた。成程これでは火光は外へ漏れぬ。

健三は裡へ入ツた。そして雨戸も閉めた。其の落着いた態度は、たツた今其處で仰天した人とは思はれぬ。彼はまた決して慌てゝ光の事を聞くやうなことはせぬ。奈何なる場合にでも、彼の頭の中には「思慮」といふ確な心が働いてゐる。

彼は上り框に腰を掛けた。そして静に訊ねた。

「孃さんは、何處かへお出掛になツたでございますか。」

「那女はの、今日東京へ行ツた。」

「東京へ？」

「むゝ、急にの、發足んければならぬことになツて二時に家を出た。其方は尚だ知らんのか。」

□□□

●鹿爪錄　日本の文華は古は漢土よりし今は西洋よりして日本固有の文華は殆ど無いと言つてもよい併し其模倣は總べて十分に消化せられて殆ど模倣の痕迹を留め無いのに一つ不思議寧ろ奇怪なのは日本の手簡文である▲其柔かな所は純粹の和文であるが被遊候とか可被下候とか奉欣賀候とか上り下りのある所は純粹の漢文であつて其和漢を折衷して極めて不調和な點から言へば洋服に高下駄を穿いたやうだし其不消化な點から言へば蕎麥と團子とを一緒に食つて下劑をかけたやうなものである▲凡そ國家が國家として獨立の體面を保つには其國には自ら獨立の風俗習慣があつて最も完全に發揮せられ無ければならぬ殊に文章の如きは其國民の性格若しくは品位を表明すべき唯一の標準とも爲るべきものであるから其文體は最も國家的國民的で無ければならぬ▲獨乙のアルハベツトは其字形が蟲のやうで餘程讀みにくい獨乙人でさへ非常の注意を持て讀ま無ければならぬ位讀みにくいヂ其アルハベツトを英語のやうにしやうとは久しき以前よりの議論であつたが獨り鐵血宰相ビスマルクが頑として可かなかつたので今に改めることをしないのであるさうぢや極詰まらぬ話ではあるが是れは獨立せる國家に獨立の文字獨立の文章が無ければならぬ必要があるからである▲日本の手簡文もそれと同じく上り下りのあるは實に奇怪千萬である漢文直譯なら直譯であるが漢文ともつかず和文ともつかぬ雜種兒文體は獨立せる國家獨立せる國民といふ點よりするも將た又外國の文華を吸收して極めて不手際な痕迹を殘して居るといふ點からしても是れは是非とも書き下して日本流にやりたいものである（□□生）

廣告

告示

三月廿二日第四回懸賞捕鼠抽籤執行したる結果當籤番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得可し

一、當籤者は四月五日迄に衛生局に至り當籤札と引替へ現金を受領す可し

二、四月五日を經過するも尚賞金受領の爲め衛生局に至らさるものは其當籤効力は消滅す

三、賞金額

一等　銀五十圓　二等　銀十圓

三等　銀二圓　四等　銀一圓

三月廿二日第四回抽籤懸賞捕鼠號章程列左

一、當籤者於四月初五日以前持原籤赴衛生局領賞過期其原籤即消廢無用

二、賞銀額

一等　銀五十圓　二等　銀十圓

三等　銀二圓　四等　銀一圓

第四回捕鼠抽籤當撰番號

一等　一五九三

二等　一五八〇　二四七五　一七〇七　一四四一　一七二六

三等　二三四七　二三一七　一四四七　一四五〇　二二八九　二〇九四　一七一三　一三八三　二〇八五　二五一〇　二二九三　一八九七　一六五七　一七六八　一九九〇　二一九五　二四二三　一九三六　二三九三　一七二〇　二五一一　一三二八　一九〇九　二一四二　一九三〇

四等　二六五五　一七〇五　一三四五　一七四四　一二八三　二五一七　二〇八三　二一六三　二二〇五　二四〇九　一一九八　二四二二　二二八〇　一四〇〇　二五五九　二六〇八　二一三六　二九二八　二一八一　一四九二　二一八三　二五四二　一四七三　一三九二　二二四四　二四六八　一六六六　二五九一　一〇〇五　一五三八　二一〇五　一六一九　一七四九　二九二三　一六〇五　一三六〇　二一四九　二二二三　一六二二　一六四八　二六〇二　二二〇七　二四八六　一九八〇　一五七五　二六五三　一七四一　二五〇三　二四五八　二二九七

廣告

一生石灰　五千鑵

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上

右購買す入札望の者は本月十三日までに當署經理課に就き入札心得書、契約書案、見本熟覽の上同十五日午前十一時入札すべし即時開札す

此契約は營口軍政官與倉喜平担任す

明治三十九年四月一日

營口軍政署

法律事務所の開始

生儀前ニ判事并ニ地方法院長等の官職に歷任し及び辯護士の職務を行ひしこと多年今般民刑訴訟の代理刑事被告事件の辯護訴訟事件の鑑定契約書起案法律顧問等總て法律に關する諸般業務の依頼に應ず

營口永世街金城館南隣り

小林法律事務所

從七位勳六等　小林一生

○但し應接時間は午後四時限り夜分の面會は絶對に謝絶す

東營口郵便局東隣

●島田洋服店●

新民屯停車場前

●同　支店●

滿洲商家名鑑發行の趣旨

滿洲商家名鑑は滿洲各地に散在店舗を營む本邦人を普く網羅し且つ著名商店の現況を仔細に描寫し店主若しくは主任者の閲歷性行等を詳錄し汎く之を紹介し以て商業取引の圓滑融和を圖んとするにあり製本体裁は菊版本緞表紙總クロス三百餘頁とす　一部定價銀二圓

一寫眞廣告料二十圓　普通廣告料十圓

一特別廣告料二十圓

右發行人　安齋源一郎

◎滿洲商家名鑑原稿採集の爲め馬島音三郎を貴地に派遣いたし置候間同人御伺ひ致し可申恐入候得共相當御便宜御與へ被下度伏而乞上候也

在大連　滿洲商家名鑑發行人　安齋源一郎

營口各位

◎營口商家案內地圖編纂

右は滿洲商家名鑑附錄として發行可仕尚製版印刷の上は特に一葉賣も可仕候也

廣告料　金六圓

同地圖に廣告なさんと欲する諸彥は營口元神廟街二三三鵜澤商店方馬島音三郎迄御申込を請ふ

廣告

組合規約追加

組合員にして其內外を問はず妨害又は損害を加へられたる時は其旨事務所に屆出べし此の場合に於て事務所は直に役員の審議に付し果して屆出に相違なきときは之れを新聞紙上に廣告すると同時に組合一般に報告す組合員は其者と取引をなす事を得ず

右今般組合總會の決議に因り追加條項として相加へ候條及廣告候也

年　月　日

營口材木商組合

爲替券無効廣告

清曆本年正月二十二日弊號は在阿什河和順昌に於て本年二月二十五日營口にて支拂ふべき爲替券即該號昌字十七號永記名下銀五千三百五十兩仝十八號功記名下銀二千六百七十五兩の二通を買受け去る二十二日阿什河より合盛信局に托し送附の途中之を紛失せり依て直に該營口分號へ此由を說明し以后該券發見するとも無効に御坐候間此段廣告候也

營口　永同和主人啓

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

△病者の入院治療を諾す

△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄

△姙婦の入院を諾す（取扱主任產婆大道しげ子）

院主　森　矯

醫長　鈴木昌平

營口永世街（電一五五番）

料理部開業披露

弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就ては座敷向き等も凡て改築仕日本式の粹を拔き藝妓仲居も弊店付として內地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の廚士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整愈々本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候

追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客樣の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館　第一營口ホテル

料理　第一樓（電話八四）

御手輕料理

一釜飯御一人前　五十錢より

一卷壽し　一本　十五錢より

一湯豆腐　一壺　廿五錢より

一東京壽し　一人前　卅五錢より

右之外御誂に應す

月　日

營口元神廟街二〇九號

翁亭

廣告

齒の衛生治療は一日も等閑に附すへからす然るに當營口に良齒科醫無きは予輩の最も遺憾とする所なるを以て今回二三有志相謀り目下天津佛租界に於て開業し內外人の信用を博せる齒科醫田添豐三君の出張治療を乞へるに快諾を得來月上旬より本埠マンデウリヤ、ハウスに於て約三週間許治療に從事せらるゝを以て齒患に艱やまるゝ諸君は此好機を逸せず續々治療を受けられんことを望む尚同君來營の期日は重ねて紙上に廣告すべし

三月三十日

營口有志者白

一料理用白味噌、赤味噌、

一煙草類、東京淺草海苔、木炭類、酒盗、(萬)醬油、白米、罐詰

一瓶詰雲丹、コノワタ、

一清酒澤龜特約、並に瓶詰、

一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、

其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度伏て奉願上候也

東營口永世街第廿八号

雜貨商　大原洋行

御旅館　豐陽館

上海（電話一〇六番）

日本郵船會社荷客取扱

歐米汽船乘船取扱

館主　米田藤吉

奉天日本旅館

瀋陽館

家屋宏壯清潔

接待優遇懇切

開放全時一閲業

奉天小西門外十稱路北

雜貨　すし米
醬油　清酒　大樽　半樽
木炭

營口西北街
阪神組

CARTRIDGES.

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着

第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候

ブッシ商會

本家　日本東京神田鍛冶町　堀内大藥房

淺田飴（あさだあめ）

肺癆痰喘氣急傷風痰嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣
永世街　東瀛大藥房
房主　藥劑師中馬龍造

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137　電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
謹言

發賣　料木　標子　木級
鹽川商會
清國營口二本町二五五號
主任　鹽川峯吉（電話一三六番）

遼陽西門内　鹽川商會
●建築　電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
外に用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）一二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付莨大和
酢　醬油瓶詰樽詰
菓子　鑵詰　色々
洋酒類
右取次販賣

牛莊港東營口
宅合名會社營口支店

大日本東京
本舖　山崎帝國堂藥房修處

腦丸　天授

天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也
たんせき、ねつさましの一切の妙藥

腦丸者天下唯一之腦病靈藥也
腦病の名藥にして他に類なし

營口大街（永世街二本町）
藥司洋行　淺野爲三郎
藥劑士
福壽堂大藥房
醫械藥材　有名靈藥　總發賣處
總批發處
大清國

旅人宿　東館
大連市信濃町卅九號地

特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

和雜貨及紙類
洋貨類
大販賣
奉天城内鐘樓南大路西
千賀洋行（電話號）

石材、碎石
並に自家製造
瓦、煉瓦
廉價販賣
營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

大日本帝國醫科大學模範藥局御用
攝津灘石崎合資會社釀造

澤之鶴　醇良清酒

滿洲特約大販賣

周　裕和盛號支店
清國營口西北街
電話八十一番

大連湖北彩票每日賣出
東清鐵道裕和盛運輸局

○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

○支店韓國京城、仁川、木浦、旅順、鐵嶺、
○支店清國、芝罘
○本店日本長崎梅香崎

裕和盛は　清商中日本通の張本！
澤之鶴は　既に定評ある天美祿！

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館　# 東京樓
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）

御席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

鐵嶺
西門外大通
御旅館
福屋
御料理

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口南永世街憲第三十六號
北斗洋行質屋部

和洋
會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町
日本館（電話百三十）
各位樣

宮門抄

初四日 戶部 宗人府 正白旗值日無引見

召見軍機

黃昌年遞封奏一件

初五日 禮部 太常寺 正紅旗值日無引見 成公因伊子以侍衛用謝恩 恆順因伊弟以旗員用謝恩 莊浪城守尉倭和謝恩 良揆謝授缺恩 景陵總管清泰謝恩 禮部奏請換帶涼帽日期

旨着于三月二十日

召見軍機

上諭恭錄

初五日奉

上諭太常寺奏請簡署卿缺一摺太常寺少卿着孫寶琦署理欽此

上諭荊州右翼副都統德祿因病懇請開缺一摺德祿着准其開缺欽此

論說

論身與國之關繫

千夫所指。無疾而死。此土耳其所以亡也。百足之虫。死而不僵。此法蘭西所以復也。吾國建國爲天下先。然至今日。政體之組織未完。國民之智識未啓。衡視鄰國。瞠乎在後。豈天之所賦。人之所秉。不外國若耶。則吾所不敢信者也。雖然必求其所以致此之故。則外人所謂支那人無愛國心一語。非誣我矣。夫人不愛其身則身易死。不愛其國則國易亾。惟愛國者惟能不惜身命。與國存亡。不期而致國於富強之的點。文明之極度。此東西強鄰所以獨佔優勢也。然而我國人之不知愛國。寔無足怪。四千年來。民無聞政事之權。君主以無事取天下。(老子以正治國以奇用兵以無事取天下)非愚民不足濟其術。小人以力田爲彝訓。非奉上不足保其軀。積威之勢。遂使尊卑之相去。儼如天澤。爲其民者乃舉其固有之權。分內之責。委之於賦稅力役之中。敝之以爲固然。寬之則感恩不已。而瑰瑋桀驁之士。或激而爲人生行樂富貴何時之語。或忿而爲天下多事無保貧賤之言。(上句楊惲語下句譚全播語)所謂天職人格。益茫乎不復知矣。國自國。我自我。秦越肥瘠。豈復有相顧相親之理。強之哭者不涕。歷代雄猜專制之君主。所不得不尸其咎也。獨是世變愈甚。非古代所可同年而語。志士仁人。方欲求其已失之權。群倡愛國之說。在上者亦知國事非一二人所能任。始有公國於民與民共治之心。周秦之交。由合而分。由分而合。今日國與民相得之象。有如此者。惜乎夏虫語冰。狢荅引年。吾國人之程度猶未及此也。得其權而不善用。負其任而不能勝。知愛國而不知所以愛國。丐子談金。餓殍說食。何所稗補。數千年身國判然之習。其流毒乃至於此。使由不使知之權術。吾知聖人亦自悔其言矣。則吾請爲國人告曰。大而遠者。聖人有所不明。小而近者。愚夫之所能悉。夫愛國之道。大而遠者也。中士聞道。若存若亾。安能相責。請言其小者近者。軀之於人。既小且近。誰不知愛。第使人人果自愛其身。則天下無不治矣。夫人苟不以有生爲厭者。罔不欲求名求利以自益。此爲我之主義。普通之欲情。童子知之。然失其解則愛身。得其解則愛國。無兩途也。成大名者必建大功於天下。何必爲一身一家之謀。圖大利者必過大益於同群。豈自矜什一貿遷之術。王鐵槍奮豹死留皮。人死留名之心卒立功於梁室。范蠡畫計然之道。進以之治國。退以之治家。名與利出於人。苟見其大而不見其小。則團體不期而結。大羣不期而合矣。吁。夢飲食者旦而哭泣。夢哭泣者旦而田獵。吾國志士大率如是。非眞有悲歡一定之因。究其道之窮而已。吾所爲亟以國與身之關繫告之也。又命布冒險渡洋闢米洲萬里之地。而卒窮困以終。廬梭著作等身。提倡民約。竟爲舉世所不容。展轉奔逃。困於瑞士。彼其不善於爲我者乎。然而利施全歐。名垂萬古。又何慕乎春冰朝露之富貴耶。秦始皇囊括四海。窮天下之力以自娛。哀止辭讟貨無厭。錢鳴於室。而一則滅國。一則亾家。家國已無。我於何有。則其賢不肖又何如也。嗚呼。彼我之說。世失其解墨子兼愛。佛家矜普度。耶氏言愛人如己。雖力求其解以矯時弊。而皆隱然有主客之分。尚無所當。夫我者國之庶休也。國者我之全身也。庶體不能盡其義務而身死。此生人之公理也。已飢已溺。聖人其得之乎。不然駢拇枝指不廣形於七尺。庶體即不至爲全身累。其亦誰樂爲駢拇枝指也哉。

中外要聞

●會議秋操　練兵處王大臣會議應行改革軍制各項事宜謂本年秋季在河南彰德府舉行合操大典仍奏派徐大軍機爲總監部長審察一切袁宮保鐵尚書爲兩軍元帥

●擬改傳教條約　聞外務部堂憲會議擬理各省教案諸多棘手俟南昌教案議結即照會義國公使向羅馬教皇改訂條約以便通行遵守

●電保俄商　外部電致新疆巡撫謂據駐京俄公使照稱俄商在新疆營業者時被土民唆使回匪欺擾諸多不堪特此電希貴撫認眞保護並速會同伊犂將軍妥籌保衛之策免致另起交涉云云

●電爭礦務　昨外務部接到黑龍江將軍來電稱漠河觀音山兩處金鑛前目庚子曾被俄人私佔迄今屢索未交應請大部務與俄公使磋議爭回而挽利權

●警部交涉　昨徐大軍機在六國飯店宴請各國公使聞係爲警部將來統轄地面難免華洋交涉請各公使約束該國兵商以全中外友誼

●分送警章　巡警部徐尚書傳諭司委各員將巡警續訂章程每送各國公使館一部恐各國不知約章悞成交涉之事且令各公使約束兵丁免與中國巡警轇轕以篤邦交友誼

●傳聞不確　外間傳說二月初九日　太后駕幸頤和園駐蹕云云今聞最近消息內廷並未交傳各處所預備此足徵傳聞未確也

●法使函催教案　近聞法公使函達外部謂各項報章所登南昌教案法國諸多要索此事惟貴部可知此時本大臣難於辯論尙希貴部電致胡撫暨查辦大臣速爲議結免致各報登載謠傳復起愚氓作亂致中法多端交涉云云

雜報

●密查革員　聞官場密秘消息巳革道員周冕業經密旨飭查俟有覆奏唐侍郎再與俄公使續議以杜俄公使之藉口云

●南北異宜　本埠歷年河港一泮帆輪船等爭先進港運貨而南今春北貨不銷南客虧本均各停辦昨聞旋南諸輪俱駛空船而返云

●營口道臺調任　此次中國鐵路總辦梁夢亭君調任營口道臺聞梁君曾於美國大學畢業精通歐美之情形又兼善操英語談論如流實當世不易得之才也並聞梁君今現在京師不日啓程到錦州暫駐該地云

●米價陡落　近日進港輪裝各貨除洋紗雜貨甜橘甜橙等類惟洋麫大米較多現聞麫價甚疲米價更跌日前大米每袋市爐銀拾四兩有奇者今跌至拾壹兩云

●風猛爲災　近日飛廉肆虐鱵海揚濤南去帆船臥風避險昨午東街裕發商号之駁船載紅糖一百五十包由東駛來詎至河中一廻篷間而風勢驟猛將船傾覆該船戶等見水急上幸未沉溺惟船長張某不知去向未悉後竟如何

●來貨甚少　昨禮拜日河北來貨甚少惟駁過雞卵三百餘箱瓦缶五十套云

笑林

●蟲嘲　智井之旁苔階之罅有蟻焉盤旋磨行不知其幾千萬也忽有蒼蠅二三紛紛逐隊來遇蟾於蟻之角嘲之曰愚矣哉蟻也何行之艱也不觀我儕飛行絕跡憑虛而登高乎優游梁柱之間徘徊几席之上珍錯羅陳我先食之佳釀滿樽我先嗅之以言乎朝則皇威咫尺人不敢窺我得而撲其面以言乎野則山人墨客人不能近吾得而嘬其膚設有下逐客之令者舉扇揮我則我必聚族以與彼爭彼不能勝喪氣怒罵則加擾焉以是人多憚之咄爾螻蟻本無所能細也已甚附羶逐熱蟄處磨行一粒之粟恍如身負白鈞尺寸之途不啻從征萬里槐檀之軍不至君臣之義何存不能效鷹之揚祇知守蠖之屈老死牖下泯滅無聞亦大可哀巳由是觀之爾拙而我巧爾勞而我逸爾罔知逢迎我最工趨避此中相去其可以道里計耶爾復何說之辭蟻乃憤然作色曰鄙哉爾蠅爲逐臭之夫工饞之子不自知其恥而搖唇鼓翅惟我輩是訾胡昧於律已而一至於此今夫鑽刺紛營者每見輕於下流也跂扈飛揚者恒被殪於半途也試觀爾居無定所而暮宿朝食無定向惟酒肉是依日營營於庖廚腥穢之場或逐逐於醬甕糞廁之側嗟頭巾其慘綠亦枯敗若死灰且也爾最喜趨炎昔滌暑子嘗馳檄討之而爾不知懼洎乎寒威乍起朔風逼人則爾渰伏於室之隅俯拾即是蠕蠕可憐斯時也吾以汝爲死矣乃麗日當窓忽見爾於疏破紙間鼕鼕作小鼓聲如歌如舞而不知爾實餒甚嗚呼爾之見惡於世也久矣猶復白日競人以爲蜉蝣大地與世周旋行見爾橫死於猪鬣之拂塵陷死於膩湯之巨器一身莫保三族盡夷而我入穴以探則二月之糧猶在焉兩廣之卒無恙也猶得安步以行我素素餐以安我常居窮荒之穴尋土膏之壤甯拙毋智寧勞毋逸優游卒歲與世無爭其自適爲何如也而爾猶瞢瞢若此蠅不能答鼓翅繞飛匝而去噫物猶如此人何以堪世有浮雲夢幻顚倒若狂而不復知餘步之留者盍以蟻爲法

NEWCHWANG, TUESDAY, APRIL 3, 1906.

On the 31st ult., any ice to speak of ceased to appear in the River. Every trace of the departed winter having been already banished away, the blithe spring has come to stay, softening even the still moonlit air with her rejuvenating balm. The desolate Japanese heart runs riotous at the thought of its yonder homeland looking her best just now in the chaste flowery gown.

We hear that the shooting season about Newchwang has been brought to a rather premature end, the reckless firing indulged in by the ambitious native sportsmen having warned the feathered community to seek a less dangerous retreat elsewhere.

Mr. A. T. Beltchenko, the new Russian Consul at Newchwang, who was Assistant Chinese Secretary at the Peking Legation, arrived here last evening. He was met at Yingkow Station by Mr. Nikitine, Vice-Consul, who went over in a steam-launch to bring him across.

We tender Mr. Beltchenko a hearty welcome.

We are informed that Mr. Grosse, formerly Russian Administrator at Newchwang, who has been lately appointed Consul-General at Yokohama, is also shortly expected here on his way to Japan.

Mu Cheng Yi, proprietor of a Chinese firm known as the Lan Chieh Kung Su (蘭階公司) and four others were discovered by Mr. Heuckendorff, representing the British American Tobacco Co., engaged in manufacturing an imitation of the "Peacock" cigarettes, a registered brand of the Company. Mr. Heuckendorff reported his discovery at once to the authorities, preferring against the proprietor a charge on an infringement upon the registered trade mark. The arrest of the five Chinese followed.

The results of investigation have shown that a scheme for the illicit enterprise was started in August '04. Mu understook himself to supply the machinery, while the others jointly laid out Y. 1,600 for the purpose. A cigarette factory was founded in working order in West Yingkow a year later, and the products turned out were put in the empty boxes of the "Peacock" cigarettes, which had been collected, so to pass off, under this disguise, for the genuine brand in the interior market about Liaoyang where chances of exposure were thought to be fewer.

In view of Chinese law containing no provision to deal with such case which falls under the jurisdiction of the civil code from the Japanese viewpoint, the police immediately put a stop to the continuation of the swindle on Feb. 21st last, at the same time, confiscating the machinery with all accessories under seizure. The five prisoners were set at liberty with a severe warning against a repetition of a similar offense in future.

The absence in Chinese law of a provision applicable to such case, and this and sundry other inducements offered to the natives for trespassing upon the rights of the registered trade mark are brought forward by us as a reminder to the right-holders in publishing this belated news, even though it is hoped to be quite needless.

Last Saturday afternoon, while it was blowing a gale, a Chinese junk, with a crew of 10 men on board, was seen capsizing all of a sudden after a violent lurch or two on its beam ends, a short distance above the West Customs and nearly opposite against the Marine Police Station. A detail of 10 Chinese policemen and a Japanese soldier led by a gendarme instantly put off in boats for the rescue of the crew in distress who had managed to cling on to the bottom side of the overturned vessel. All men were brought ashore in safety, but the turbulent condition of the river made it impossible to save the junk. The rescue party were praised for their daring feat and each received a reward.

Yesterday's Tokyo wires state that the Navy Office will dispose of the 13 prize ships seized during the late War by inviting public tenders on them. The Russian East China Railway Co. is learned to have secured from the Government a grant for a loan amounting to 12,000,000 roubles for introducing new improvements upon the line, this year. With regard to fishery rights in Saghalien waters, the authorities are reported to take the stand, that fishing rights being in their nature attached to the territory, cannot be viewed in the same light as independent propery lights. It is decided to open the Japan-Korea Exposition now under preparation on April 15th next.

To-day (April 3rd) falls on another Japanes national holiday, Jimmu-Tenno-Sai (神武天皇祭). No issue of the "M.D.R." will appear to-morrow in consequence.

時刻

山海關至天津	上五、〇〇	下五、五五
唐山至天津	上六、一二	上一一、二八
塘沽至北京	上六、〇〇	下一二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、	下六、四五
北京至...	上一一、[illegible]	下五、一〇
天津至唐山	上一一、四三	下五、一七
天津至山海關	上六、二五	下六、二一
唐山至山海關	上六、〇〇	上一一、五八
山海關至營口	上[illegible]、〇五	下四、五五
溝邦子至新民屯	上三、〇〇	下六、五七

一、引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候
市場北三階樓 時計店ノ二階 宮原公司

日本人基督教會堂 軍政署官舍東カルソン師邸內

輕便鐵道附屬品 土木建築用材料 其外鑄物諸般

定商門會 街東 喜□工場

豫報 北の風晴
昨日の氣温 昨日最高温度五十二度〇 最低温度三十九度〇 昨年との比 高一度八 高十二度二

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 料理 **第一營口ホテル** 元神廟街九十六號（電話八四番）

旅館 **第二營口ホテル** 河岸通り

料理 **第三樓** 元神廟街三十二號（電話七九番）店主 粕屋忠兵衛

料理 **入船亭** 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 **日營ホテル** 河岸通り 店主 井上源吉

料理 **東京館** 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 **東茂旅館** 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 **千鳥** 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 **沖の島** 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 **吉野亭** 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 料理 **高砂ホテル 高砂亭** 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 **竹村館** 永世街二十二號（電話五一）店主 麻田久二

旅館 **大和館** 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 **滿洲樓** 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 **萬梅** 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 **まんなをし** 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

東京 生蕎麥 一式 **東庵** 元神廟（電話百五十九）

旅館 料理 **金城ホテル** 永世街百六十六號 **第二金城ホテル** 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 旅館 **醉花園 澁谷旅館** 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 **喜樂亭** 營口元神廟街

旅館 **東雲旅館** 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署 御用旅館 **東雲** 主任 谷口今朝太郎

さるそば **第一更科** 營口元神廟街
さるそば **第二更科** 永世街鶴の湯角

御料理 **柳亭** 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 並ニ溫泉 **一力** 營口永世街 店主 堀万助 舟日新湯

和洋料理 **松月亭** 本店 營口元神廟街一四三号
和洋料理 御旅館 支店 **滿洲ホテル** 遼陽西街西門一一七号

料理 **都樓** 平野町 店主 坂本ちか

遼陽旅館料理屋案内

旅館 料理業 **日營ホテル支店** 主任 井上源吉

御料理 會席 **菊水館** 主任 朝枝團猶

旅館 西洋料理 **遼陽館** 主任 永瀬宇吉

旅館 料理業 **公陽館** 主任 宮川秀基

御料理 會席 **末廣屋** 主任 山根初之函

御料理 色々應御注文 **凱旋亭** 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 **遼塔ホテル** 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル **遼陽倶樂部** 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 **玉家** 主任 西野治三郎

御料理 會席 **來々亭** 主任 石田清

一和洋御料理 **遼東館** 遼陽城内東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天旅館料理屋案内

旅館 **奉天館** 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 **日清倶樂部** 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 **瑞豊館** 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理 高等御旅館 **天神樓** 奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店 **日の出樓** 奉天小西門通（元紅葉館跡）温泉付大勉強キレーデワイシヒ 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 **日盛館** 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話　號）

旅館 料理店 **梅松館** 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話　號）

旅館料理店 **大和館** 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 **大正館** 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき樣に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上 奉天十間房第十五號 **高砂館本店**

旅館 御料理 奉天城外廿四號 高砂館支店 店主 宇木智平 **奉高館**

旅館料理店 **日奉館** 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 **東洋館** 奉天大西門外小什字街（電話號）主任 藤島初野

御料理 **梅ケ枝** 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 **勉強館** 奉天小西關外北長發園隣

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付度奉願上候 **金城館販賣部**

特別室落成 營口金城ホテル **旅館部**

會席御料理 **金城館**

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 **金城館**

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第一七二號 **大清通運公司 營口支店**

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ふも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲け新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合

歐米各國最新流行形 **西海洋服店** 永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

新着の御知らせ
東京より 蜂印香竄葡萄酒、羊羹、味付海苔、旅行用トランク、手提鞄、御婦人足袋、謄寫版、眞筆版、コツピープレス等
其他 雛立印白酒、寄木細工、漆器、陶器、金屏風等夫れ〳〵産地より着荷仕り候
新到 各種皮包、皮箱、文具格、畫掛、畫漆茶机、畫漆茶盤、金漆畫屏、金漆鏡臺、眞筆版、謄寫版、極上麝香水、蜂牌香竄葡萄酒、
營口 **加藤洋行**（電話八十番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種
營口元神廟前 **飯塚工程局材料部**（電話百三十五番）

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 二石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干塩魚 ○石灰
卸小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
永世街八十號（電話百五十二番） **喜久洋行**

大連 **東洋ホテル** 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

標子 木板 料木 發賣 營口青堆子 **清水寧木局**（電話九十四番）

故沖禎介 追悼の爲め江湖諸賢より玉梓したる詩歌書畫を編集し上はりて一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度く存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也
一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、紙判は美濃紙大
一、沖莊藏在沖縄縣那覇地方裁判所官舍
一、御問合の件あらは左に
新民府 奈良崎八郎　營口瀛華學院 上野政則　大清通運公司 安田貞藏
同志友人敬白

大阪商船會社 荷客取扱所 内外船舶代理店 船舶貸借仲立
水陸輸送貨物仲次 諸品委托賣買 輸出入稅關手續 解船人夫運搬請負 倉庫業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候瀛船乗船之御方樣は御一報次第切符持參仕候尚御手廻り貨物持運ヒ等當店送迎組ニ御用仰付被下へ迅速確實ニ御取扱可申上候
西北街 **徳重洋行**

爲替相塲（四月二日）
日本向 一百圓二十五錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向 七十二兩○二圓五十錢（百兩に付）

日本品最近物價表 加藤洋行
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 一〆 七圓五十錢
一全狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢 百枚 十三錢以上十八錢

室内裝飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一疊 一疊敷 二圓六十錢以上三圓
一蒲樣 十枚 八圓
一麻級 一緞通 三圓 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 銀四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙